

SAMPLE

特集レポート No. 040

電力・ガス自由化のインパクト

Strictly Confidential

 Info Mart Corporation

2017年 6月28日

はじめに

- 従来、電力・ガスは地域ごとに決められた事業者としか契約をすることができなかったが、段階的に自由化が進められたことで、利用者側が電力会社を選べるようになった
- 電力は2016年4月に一般家庭向けの電力自由化が始まり、ガス業界など他業界から多くの事業者が参入したことで、競争が激しくなっている。また、2017年4月にはガス自由化が始まり、電力会社とガス会社の顧客獲得競争は激しさが増している
- 本レポートでは、先行して自由化が進んだ電力に焦点を当て、2016年4月の自由化以降の動向について説明する。また、海外の電力自由化の事例を参考に今後の電力業界の展望について考察する

本資料の流れ



- I. 電力・ガス自由化とは
- II. 電力自由化の動向
- III. 今後の展望

電力・ガス自由化とは

- 2016年4月よりスタートした低圧の電力自由化により、一般家庭でも電力会社を選ぶことが可能となった
- 都市ガスも2017年4月より自由化となり、一般家庭でもガス会社を選ぶことが可能となった

電力自由化(低圧)

ガス自由化(都市ガス)

概要

- 2016年4月の電力自由化以前は一般家庭では地域で決められていた電力会社としか契約ができなかった
- 自由化以降は、新たに参入する電力会社からも電気を契約できるようになる

- 2017年4月のガス自由化以前は都市ガスを利用している一般家庭では、地域で決められていたガス会社としか契約ができなかった
- 自由化以降は、新たに参入するガス会社からも都市ガスを契約できるようになる

自由化の メリット

事業者側

- 既存の事業者にとっては、新規参入による脅威があるものの、自らも既存の事業エリア以外への進出が可能となるためチャンスが広がる
- 高圧に参入している事業者は、低圧に参入することで事業を拡大するチャンス
- 低圧から参入する事業者は、既存事業とシナジーを生み出して事業を拡大するチャンス

- 既存の事業者にとっては、新規参入による脅威があるものの、自らも既存の事業エリア以外への進出が可能となるためチャンスが広がる
- 工場などにガスを供給している事業者は、家庭用に参入することで事業を拡大するチャンス
- 家庭用から参入する事業者は、既存事業とシナジーを生み出して事業を拡大するチャンス

顧客側

- 電力会社を選ぶことが可能となるため、今のガス料金よりも割安なプランを選択可能
 - ポイントサービスや定額制、セット割りなど、料金メニューが多様化する
- 環境への配慮や電源の種類にこだわりたいという人にとっては、自然エネルギーを活用している電力会社を選択することが可能

- ガス会社を選ぶことが可能となるため、今のガス料金よりも割安なプランを選択可能
 - ポイントサービスや定額制、セット割りなど、料金メニューが多様化する
- 都市ガス自由化にあわせて、LPガス業界でも透明性を高める動きがある(ガス料金公開など)

電力・ガスの自由化の流れ

- 電力、ガスともに段階的に自由化を進めており、電力は2016年4月に全面自由化となり、ガスは2017年4月に都市ガスが一般向けに自由化となった

電力自由化(低圧)

(参考)ガス自由化

	電力自由化(低圧)				
	特別高圧	高圧	低圧		
		【2,000kW】 (20,000V)	【500kW】 (6,000V)		
			【50kW】 (100~200V)		
2003年 3月~	自由化部門 【特別高圧産業用】 大規模工場 【特別高圧業務用】 デパート、オフィスビル	【高圧B】 中規模工場	【高圧A】 小規模工場	【低圧】 コンビニ、事業所など 【電灯】 家庭	1995年 3月~ 大規模工場 等
2004年 4月~	自由化部門 【特別高圧産業用】 大規模工場 【特別高圧業務用】 デパート、オフィスビル	【高圧B】 中規模工場 【高圧業務用(500kW以上)】 スーパー、中小ビル	【高圧A】 小規模工場 【高圧業務用 (500kW未満)】	【低圧】 コンビニ、事業所など 【電灯】 家庭	1999年 11月~ 製造業全般 大規模商業施設 等
2005年 4月~	自由化部門 【特別高圧産業用】 大規模工場 【特別高圧業務用】 デパート、オフィスビル	【高圧B】 中規模工場 【高圧業務用】 スーパー、中小ビル	【高圧A】 小規模工場	【低圧】 コンビニ、事業所など 【電灯】 家庭	2004年 4月~ 中規模工場 シティホテル 等
2016年 4月~	自由化部門 【特別高圧産業用】 大規模工場 【特別高圧業務用】 デパート、オフィスビル	【高圧B】 中規模工場 【高圧業務用】 スーパー、中小ビル	【高圧A】 小規模工場	【低圧】 コンビニ、事業所など 【電灯】 家庭	2007年 4月~ 小規模工場 ビジネスホテル 等
					2017年 4月~ 家庭用・小口業務用

自由化による主な新規参入企業

- 電力には様々な業種からの参入があったが、ガスは調達が困難であり、参入のハードルが高いため、新規参入は少ない

主な電力新規参入企業(新電力)

都市ガス系	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東京ガス ■ 大阪ガス ■ 東邦ガス ■ 西部ガス
石油元売り系	<ul style="list-style-type: none"> ■ JXエネルギー ■ 昭和シェル石油 ■ 東燃ゼネラル石油 ■ 出光興産
商社系	<ul style="list-style-type: none"> ■ 丸紅新電力 ■ 三菱商事×ローソン ■ 伊藤忠エネクス
通信系	<ul style="list-style-type: none"> ■ KDDI ■ ソフトバンクグループ ■ ジュピターテレコム ■ ケイ・オプティコム
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ HIS ■ 東京急行電鉄(東急パワーサプライ)

主なガス新規参入企業

電力系	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東京電力 ■ 中部電力 ■ 関西電力 ■ 九州電力
LPガス系	<ul style="list-style-type: none"> ■ サイサン ■ ニチガス
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ JCOM

SAMPLE版はここまでです。

続きは、業界チャンネル 特集レポート にてご覧ください。

特集レポート一覧はこちら ▶

“業界チャンネル 特集レポート”とは、

経営コンサルタントの目線で特に伸びているビジネスに注目して分析。
その成功の鍵や今後に言及し、「打ち手」を導出します。

